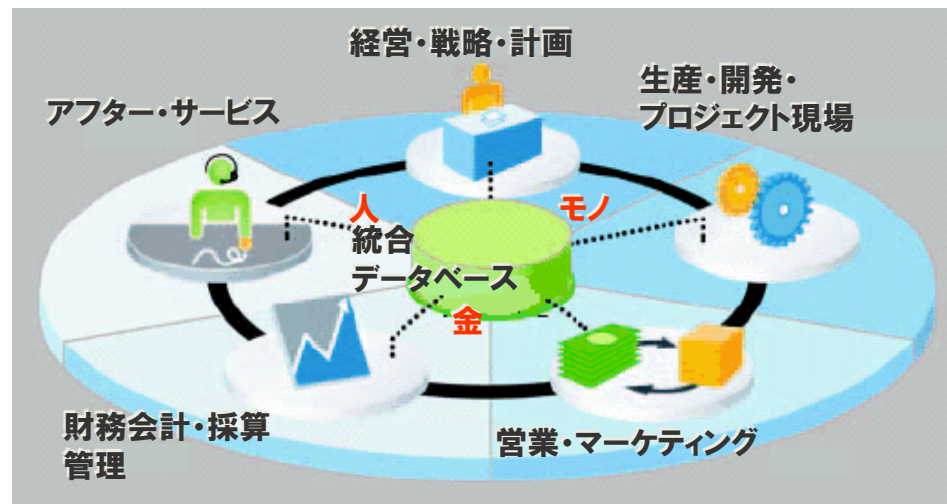


オープンソースERP 「ADempiereのご紹介」

ERP(Enterprise Resource Planning)とは？

- 企業の基幹業務領域において計画・実行・分析を支援するアプリケーションシステム
- 企業運営の生命線であるロジスティクス、財務会計、人事給与、情報管理、経営管理などを統合DB上で実現したパッケージシステム
- 構築には多大なライセンス費用と導入ノウハウが必要
- ビジネスプロセスが標準化、可視化され全社規模での最適化を実現
- 同領域の製品としてはSAP社のSAP-ERPやORACLE社のORACLE-EBSなどがある



特定非営利活動法人

日本 ADempiere の会

Japan ADempiere Group

OSS (Open Source Software)

ソフトウェアのソースコードを、インターネットなどを通じて無償公開し、誰でもそのソフトウェアの改良、再配布を行えるようにしたソフトウェア

GPL (General Public Licence)

FSF (Free Software Foundation) の理念に基づき明文化されたソフトウェアライセンス形態で、プログラムの著作物の複製物を所持している者に対し概ね以下のことを許諾する

- ① プログラムの実行
- ② プログラムの動作を調べ、それを改変すること
- ③ 複製物の頒布
- ④ プログラムを改良し、改良を公衆にリリースする権利

GPLと、より制限の緩いフリーソフトウェアライセンス（BSDライセンスなど）との主な違いは、GPLが派生的著作物についても、上記4点の制約を保存しようとする点です。この仕組みはコピーレフトと呼ばれ、GPLでライセンスされた著作物は、その派生的著作物に関してもGPLでライセンスされなければならないということを意味します。そして最大の特徴は、これらは無償で利用者にライセンスされるということです。

オープンソースソフトウェア指向で開発された
企業向けERP（企業資源計画）パッケージ

OSS + ERP

ADempiere
iDempiere

- リーズナブルなコストで全社システムを構築（中長期的なTCOを抑制）
- システムライフサイクルマネジメント・ベンダーロックインに対して有効
- 業務標準化を支援するビジネスロジックとコア・コンピタンスの強化
- 経営資源の効率的な管理、業務の見える化、属人性の排除
- 企業向け業務システムソリューションとしての新たなSIビジネスモデル
- 実践型コンサルテーションとしての強力なツール

お客様が過去に採用したシステム化方針による現実

- 業務現場の部分最適化を優先したスクラッチシステム
- オーバースペックな大規模ERPパッケージ利用によるTCO増大
- すぐに使える簡便さと拡張性をトレードオフした簡易PKG利用
- 業者まかせによるベンダーロックインなローカルシステム
- PCツールを用いた「場当たりのな」システム利用環境

システム化の方向性に影響を与える外部環境変化

ネットワーク帯域が高価
データ分散型（オンプレミス）が有利



運用管理の人件費が高価
データ集中型（オンデマンド）が有利

性能が最重要事項
スクラッチシステムが現実解



俊敏性と柔軟性が重要事項
PKGベースのセミオーダーシステムが現実解

企業側システム課題に対する解決の方向性

ビジネスユースに耐えうる以下の特性を担保した製品・サービスが求められる！

- ✚ 企業全体の最適化を優先したグローバルERPパッケージ
- ✚ 事業の本質に収斂した密結合方式のデータベース構造
- ✚ 自社の標準的（世間一般的な）な領域への効率的なビジネステンプレート適用
- ✚ 自社のコア・コンピタンス維持成長のための拡張性能とカスタマイズ性能
- ✚ 外部環境、利用環境の変化への備えとしてのクラウド対応力
- ✚ 初期費用、保守費用、ライセンスコストなどを抑制するローコスト構造
- ✚ オープン系アーキテクチャー採用による耐システムライフサイクル性能
- ✚ 不確定要素への備えとしての市場流動性（独自性の排除）とリスクヘッジへの担保

重厚長大なIT施策でも、ローカルなツール利用でもない
コンパクトでグローバルなオープン系ERPをコアとした取り組みが現実解！

特徴

圧倒的な自由度と強靱な開発性能

- 100%JAVAプログラミング
- MDA/MVC構造-WEB UI対応
- ソースコード公開
- GPLv2ライセンス
- アプリケーション辞書
- Linux/OSS-DB対応
- バザール開発コミュニティ

エンタープライズクラスの対応力

- マルチな言語、通貨、会社、会計基準…
- 全ての基幹業務領域をフルカバー



不安

オープンソースソフトウェアの欠点

- コミュニティによるボランティア開発
 - 日本語／日本商習慣未対応
 - サポートスキームがない
 - 利用者責任が原理原則
-
-
-
-

ミッションクリティカルなビジネスユースでは不安材料が多すぎて使用できないのでは？

ディストリビューションの必要性とその波及効果

オープンソースソフトウェアの品質・サポート力 < ビジネスユーザーのクオリティ要求

ユーザーである企業の多くは、システム化自体が事業のミッションではない。

SIerはこの課題を解決するために存在し、ディストリビューションの意義がココにある！

ユーザーは前述のシステム課題をディストリビューターにより解決し、ディストリビューターは、新たなソリューションビジネスへのマーケットインと収益機会（とプロダクトアウト）を得ることができる！

ADempiere（ERP）がビジネスアプリケーションレイヤーの核となり、周辺機能や周辺機器と連携し、ビジネス向けソリューションの新たなメソッドとなることで、プロプライエタリ全盛のITマーケットに新たな価値観の提示と新たなIT産業振興のエンジンとなる！

業務システム構築手法

	メリット	デメリット
スクラッチ開発	・自社要件に合ったシステムが構築可能 ・ベンダーの制約を原則受けない	・稼動／保守は自己責任 ・工期が長く、コスト高
簡易パッケージ	・短期導入が可能、即効性が高い ・システム初期コストが安価	・拡張性に乏しく、変化対応力はなし ・全体最適効果は薄い
ERP導入	・ビジネスプロセスの標準化、可視化可能 ・ギャップ部分に対する対応度が高い	・一部BPRが必要 ・自力導入は困難

ユーザーの採用傾向



ADempiereとは

ソフトウェア名	概要	言語	ライセンス
	1999年に、Jorg Jankeにより開発された、JavaおよびJBOSSを用いたオープンソースERP。現在はAptean社により管理されている。	Java (JBOSS)	(Community) GPL version2 (Enterprise) 有料
 (ADempiere)	2006年にCompiereからフォークし、生まれたオープンソースERP。Compiereと同様、JBOSSを用いたアプリケーションであり、Web UIが追加実装されている。	Java (JBOSS)	GPL version2
 (iDempiere)	2012年にADempiereからフォークし、生まれたオープンソースERP。OSGiフレームワークが利用され、またJBOSSではなくTomcatへ換装された。	Java (Tomcat)	GPL version2
	Openbravo社が中心となり、ADempiereと同様、2006年にCompiereからフォークして生まれたオープンソースERP。Openbravo ERPとOpenbravo POSの2つのソフトウェアに分類される。	Java	(ERP) Openbravo Public License (POS) GPL version2

業務的な特徴

- 販売、購買、在庫管理、財務会計は当然のこと、生産管理や固定資産、人事給与管理に至るまで全社レベルの基幹業務領域をフルカバー
- マルチクライアントをはじめとする企業内のエンティティは、ほぼ全てがマルチ対応
導入企業の規模、形態を選ばない

システムの特徴

- 3層クライアントサーバ型とモデルビューコントローラ型のハイブリッド
- JavaUIとZKWebUIの両方が利用可能
- 100%PureJavaによる開発
- MDA(モデル駆動アーキテクチャ)採用
 - LinuxやPostgreSQLなどベースもOSS連携対応済



- GPL version.2方式
- SourceForge.netからソースコードをダウンロードして、利用・改変することが可
- ソフトウェアの利用に際しては、自己責任による利用を前提に、コスト発生や利用制限は一切なし
- CommunityEditionのみの完全オープンソース

ソフトウェアライセンス

- メジャーなオープン系技術を採用しているため技術競争力によるコストダウン効果大
- 基幹業務システムを構成する主要パッケージソフトウェアをほぼ全てOSSで構成することができるため、システム構築に占めるライセンスコストはイニシャルにおいてもランニングにおいてもコストパフォーマンスは圧倒的

ハイコストパフォーマンス



これらのデータハンドリングが
インストール直後から利用できる

これらの業務領域間が全て連携し、
質の高い業務データを保証

伝票処理により、在庫データを
リアルタイムに更新し会計仕訳を自動転記

簡易パッケージの組み合わせにはない
統合データベースによる高い親和性

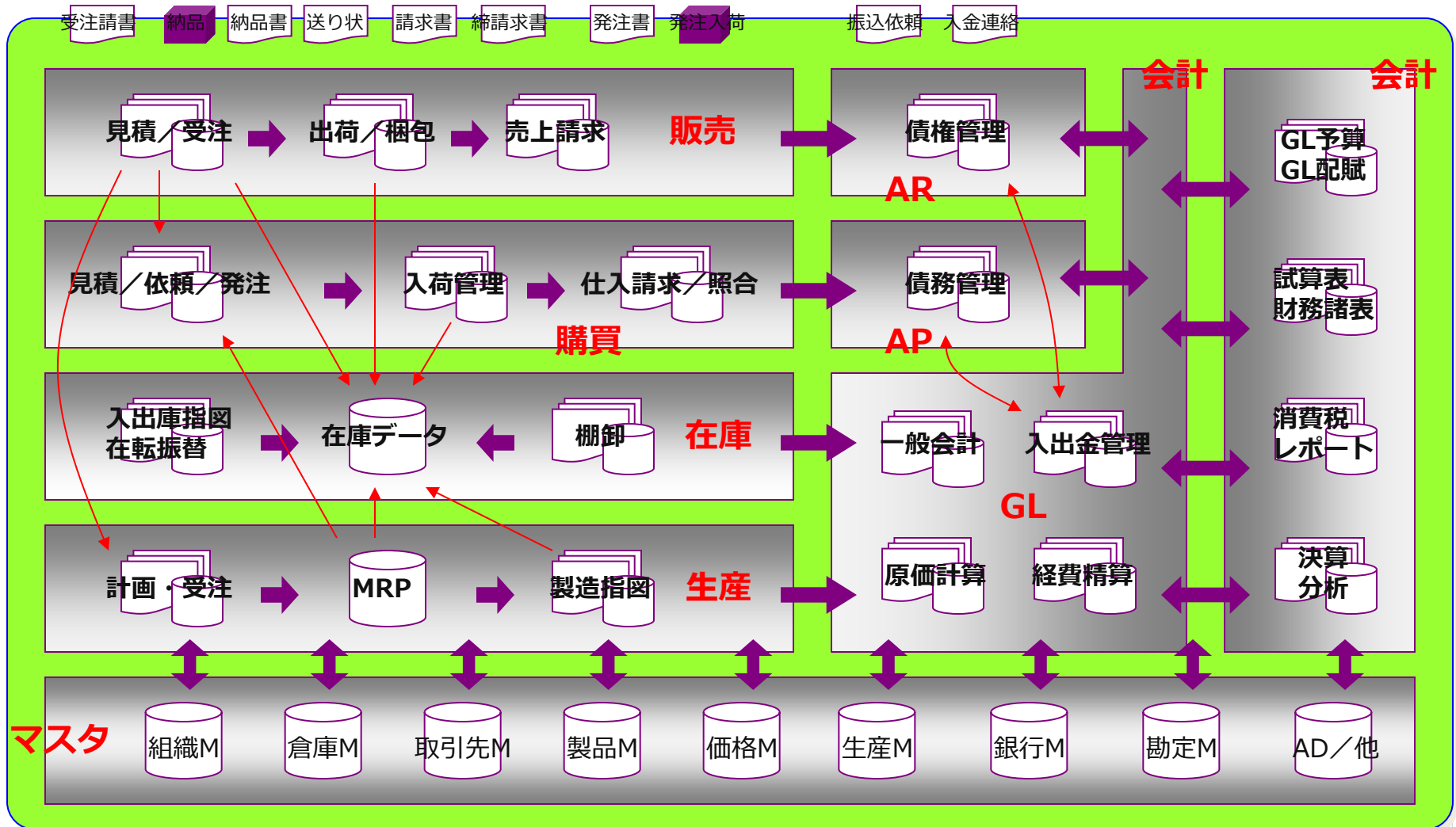
ERP製品がどこまでの業務領域を
スコープインしているかは、不確定要素が
多く、スピーディーな経営判断が求めら
れる昨今のビジネス環境においては重要

得意先

仕入先

金融機関

業務スコープと主要機能



マルチエンティティ

会計スキーム・会計ディメンション・原価ルール
クライアント・組織・倉庫・保管場所・ロール（権限）
国・言語・通貨・単位・属性・レート・税・価格・伝票タイプ

柔軟な拡張性

ウィンドウ・チェックルール・項目間入力値連携
独自帳票フォーム／出力形式
データエクスポート・データインポート
カスタマイズ・コールアウト・スクリプト



ADempiereとは？

JADG

マルチ言語

ベース言語は英語ですが、必要に応じてその他の言語を有効化出来ます。ログインする際にユーザが使用する言語を選択して、作業をすることが出来ます。又、取引先毎に使用言語を設定しておくことで、取引先の言語に合わせた表記方法で発注書や請求書を出力することが出来ます。

マルチ通貨

世界中の通貨が登録されています。為替レートを登録しておくことで目標通貨ベースでの取引が可能となり、為替差損益等も自動計算します。

マルチTAX

税コードも通貨と同様に世界中の税コードを必要に応じて登録・使用することが出来ます。

マルチ会社

1つのADempiereインスタンス内には、関係会社などを含めた複数のグループ内単独企業を登録することが出来ます。これら複数の会社コード間では通常の取引をそれぞれ行うことが出来ます。

マルチ単位

製品に対して複数の単位を設定することが出来ます。単位換算マスタを使用することで在庫管理上の単位とは異なる単位で取引を行うことが出来ます。

マルチ会計スキーマ

ベースとなる会計基準とは別に複数の会計基準をスキーマ登録することが出来ます。例えば、日本会計基準で通常運用しながら、同時に国際会計基準の決算書を出力することが出来ます。

マルチ会計ディメンション

様々な切り口（組織、販売地域、取引先、製品、アクティビティ、プロジェクト、キャンペーンなど）で、実績分析を行うことが出来ます。

マルチ原価ルール

原価計算ルールを複数定義して、複数の原価計算ルールを同時利用することが出来ます。

マルチドキュメントタイプ

ドキュメントタイプを複数登録することが出来るため、お客様の伝票区分にも対応することが出来ます。取引プロセスはドキュメントタイプにより制御されます。

マルチプライスリスト

複数（製品、取引先、有効期間など）のプライスリストを同時利用することが出来ます。又、プライスリストスキーマを利用すれば、ルール設定に基づいたプライスを一括して生成することが出来ます。

ADempiere

adjp@ADempiere Japan 株式会社.10-東京本社

設定 | ADempiere Japan Admin | ログアウト

Menu

検索 (L):

- 取引先管理
- 製品管理
 - 在庫管理ルール
 - 製品マスタ
 - 倉庫と保管場所
 - 倉庫組織
 - 数量単位
 - 製品カテゴリ
 - 仕入先詳細
 - 仕入先選択
 - 運賃カテゴリ
 - 製品組織
 - プライスリストスキーマ
 - プライスリスト
 - 割引スキーマ
 - 運送会社
 - 部品表検証
 - 製品属性
- 販売管理
- 購買管理
- 在庫管理
- 生産製造管理
- 会計管理
- その他業務
- システム管理

メニュー (M) (0)

Views

- 製品情報 (81)
- 取引先情報
- 会計情報
- スケジュール情報
- 注文情報
- 請求情報
- 出荷情報

Favourites

- 取引先マスタ
- 製品マスタ
- プライスリスト
- 受注伝票
- 出荷生成 (マニュアル)
- 出荷 (顧客)
- 請求書生成 (マニュアル)
- 請求書 (顧客)

Performance

仕入高: 0%

0 50 100 150

獲得残高: 99%

ADempiere

adjp@ADempiere Japan 株式会社.10-東京本社

設定 | ADempiere Japan Admin | ログアウト

Menu

検索 (L):

- 取引先管理
- 製品管理
 - 在庫管理ルール
 - 製品属性
- 販売管理
 - 受注伝票
 - 受注詳細
 - 未処理受注
 - 受注取引
 - 受注源泉
 - 見積から受注作成
 - 受注/請求の再価格設定
 - 受注から購買発注生成
 - 受注再未処理化
 - 受注一括処理
 - 予約購入タイプ
 - 予約購入
 - 出荷
 - 請求書
 - 請求レポート
- 購買管理
- 在庫管理
- 生産製造管理
- 会計管理
- その他業務
- システム管理

メニュー (M) (0) 受注伝票

組織: 10-東京本社 伝票番号: 50033 顧客注文番号:

伝票タイプ: 標準受注 注文日付: 2011/09/15 出荷約束日: 2011/09/16

取引先: 東京商事株式会社 取引先住所: 東京商事本社 連絡先: 東京商事担当者

請求取引先: 100000-東京商事株式会社 請求先住所: 東京商事本社 請求連絡先: 東京商事担当者

入出荷請求Tab

ステータス

小計額: 26,000.00 合計額: 27,300.00 伝票状態: 完成済

伝票タイプ: 標準受注 詳細コピー 終了

受注明細

明細	出荷約束日	製品	手数料	インスタ	数量	数量単位	倉庫	価格	単価	定価
10	2011/09/16	100009_E-CORE LDA7N [昼白色]			5	個	Wh-10-東京本社	1,300.00	1,300.00	
20	2011/09/16	100011_EVERLEDS LDA6LE17			5	個	Wh-10-東京本社	2,600.00	2,600.00	
30	2011/09/16	100004_Mousepad XXX			5	個	Wh-10-東京本社	1,300.00	1,300.00	

タブ

受注

消費税

javascript:; 開 (E)

ツール展開 (E)

レコードをナビゲートして更新します。

3月組 - 26,000.00 - 合計: 27,300.00 3PY = 27,300.00 2/36

ADempiere

[メニュー\(M\) \(0\)](#)
[在庫詳細レポート](#)
[レポート\(R\): 在庫詳細レポート_倉庫別 adj...](#)

PDF
[在庫詳細レポート_倉庫別](#)
[サマリ](#)

ADempiere

倉庫 = Wh-10-東京本社

倉庫	検索キー	名称	属性セットインスタンス	ロット番号	利用可能数量	手元数量	注文済数	予約済数量	数量単位	製品カテゴリ	保管場所
Wh-10-東京本社	100000	Logicoor Wireless Mouse G800 BK	---		29	29	0	0	個	商品	SL-10-東京本社
Wh-10-東京本社	100001	TOUCH MOUSE 3KJ-00006	---		29	29	0	0	個	商品	SL-10-東京本社
Wh-10-東京本社	100002	M-BIT2BR BK	---		29	29	0	0	個	商品	SL-10-東京本社
Wh-10-東京本社	100003	COMMON D3-162	---		0	0	0	0	個	商品	SL-10-東京本社

ADempiere

[メニュー\(M\) \(0\)](#)
[出荷\(顧客\)](#)
[Jasper入出荷書 - attachment:dem...](#)

PDF

Menu

[取引先管理](#)
[製品管理](#)
[販売管理](#)
[購買管理](#)
[在庫管理](#)
[生産製造管理](#)
[会計管理](#)
[その他業務](#)
[システム管理](#)

納品書

東京商事株式会社

御中

〒123-4567

住所：東京都港区 浜松町1-2-3

納品日：2011年09月15日

納品 No：500000

〒540-0026

大阪府大阪市中央区内本町2-1-10

オフィスポート内本町6F

株式会社 プライム・ビジネス・パートナーズ

TEL：06-6945-8383 FAX：06-6923-7378

担当者：東京商事担当者 様

下記の通り、納品いたしました。

No.	商品名	数量	単価	金額
10	F-CORE LBA7N [銀白色]	10.00 個	1,300	13,000
20	EVERLEDS LBA6LE17	10.00 個	2,600	26,000
30	Mousepad XXX	10.00 個	1,300	13,000

ご清聴ありがとうございました